

## 令和8年2月26日開催 定例美祢市教育委員会会議録

**開催日時** 令和8年2月26日（木）午後1時30分から午後3時30分

**開催会場** 美祢市役所3階「301会議室」

<b>出席者</b>	南 順子	教育長	
<b>出席委員</b>	金子 明美	教育長職務代理者	
	松本 孝志	委員	
	井上 敏雄	委員	
	谷岡奈美子	委員	4人
<b>欠席委員</b>			なし

<b>出席教育委員会事務局職員</b>	千々松雅幸	事務局長兼生涯学習スポーツ推進課長	
	田中 美香	〃 教育総務課長	
	中島 幹晃	〃 学校教育課長	
	神田 高宏	〃 文化財保護課長及び世界ジオパーク推進課長	
	渡壁 誠	〃 学校教育課主幹	
	倉増 裕	〃 教育総務課総務班長	6人

（午後1時30分）

### 1 開会

**事務局長 千々松 雅幸**

皆さんこんにちは。

ただいまから、令和8年2月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これよりの進行は教育長よろしくお願いいたします。

### 教育長挨拶

**教育長 南 順子**

改めまして、皆様こんにちは。

ようやく日差しも和らぎ、厳しい寒さに耐えた梅の花が美しく咲き誇っています。しかし、三寒四温による寒暖差で体調を崩す子供たちも多く、依然、市内の学校ではインフルエンザが蔓延し、学級閉鎖等の措置をとっている学校も

あります。

中学校三年生にとっては、3月5日が公立高校の受験日です。ぜひ、本人が万全の体調で受験に臨み、存分に力を発揮してほしいと願うばかりです。

さて、本日は、御多用の中、令和8年2月の教育委員会会議にお集まりをいただき、ありがとうございます。

国籍、人種を超えて選手同士がふれあい、切磋琢磨し、世界に数々の感動を届けた「平和の祭典」ミラノ・コルティナ五輪が幕を閉じました。

この五輪大会で、日本チームは、歴史的な大躍進を遂げましたが、選手や各競技団体の努力が実った背景には、日本オリンピック委員会(JOC)の綿密な戦略と優秀な指導者の人件費が確保されたコーチ制度の改革、競技団体や企業のサポートがあったからといわれています。

ショートプログラムでは、五輪の魔物に襲われながらも、フリーでは、力を合わせてしっかり魔物を退治し、五輪史上最大の逆転劇を成し遂げたフィギアスケートのりくりゅうペアが「可能性って無限大」という名言を残しましたが、どの選手も大げがやスランプ等、想像を絶する苦難や逆境から這い上がり、全身全霊で競技に挑む姿に、胸が熱くなりました。結果、思い通りのメダルが獲得できた選手もいれば、僅差で、メダルの色が違ったり、メダルに繋がらなかったり・・・しかし、それぞれの選手が最後まであきらめないで頑張りぬく姿を見た子ども達が、憧れや夢をもって、きっと、次のオリンピックを目指してくれることと信じています。

それでは、これからは、着座にて、進行させていただきます。

## **2 署名委員**

### **教育長 南 順子**

それでは、初めに署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、谷岡委員と井上委員をお願いいたします。

<両名了承>

## **3 前回会議録の承認**

### **教育長 南 順子**

前回会議録の承認につきましては、金子委員と谷岡委員をお願いいたします。よろしいでしょうか。

<両名了承>

## 教育長 南 順子

ありがとうございます。

## 4 教育長報告

### (1)行事関係

## 教育長 南 順子

次に、行事関係についての報告です。

2月18日の美祢市栄光賞等授与式には、御多用の中、教育委員の皆様方の御臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて、昨年末から「第三次適正規模・適正配置基本方針」の保護者説明会を開催しております。ご覧の通り、1月28日には大嶺小・中学校の保護者、2月3日には秋吉小学校の保護者、2月10日には秋芳桂花小学校の保護者、2月17日には伊佐小・中学校の保護者、2月19日には豊田前小学校の保護者に、局長、田中課長、中島課長、倉増班長、財間主査と私の6人で、説明をしに、それぞれの会場に赴きました。

その結果につきましては、担当の方から、改めて報告をいたしますが、麦川小学校につきましては、2月19日、育友会長の名前で、市長と教育長宛てに「令和8年度末をもって麦川小学校を大嶺小学校に統合していただきますよう要望いたします」と、麦川小学校再編統合に関する要望書が提出されました。

3月24日に地域説明会を開催する予定ですので、合意形成ができるよう努めたいと思います。

2月20日に、現在、広島で語り部をしておられる 美祢市出身の 西 悦子さんが、ご自分の母校である麦川小学校で、麦川小・豊田前小・於福小の3校の児童や保護者・地域の方々に 原爆の子の像～6年 竹組の仲間たち～のお話を語ってくださいました。

西様は、原爆の子の像のモデルである佐々木禎子さんの同級生河野登美子さんが語り部として伝えておられた、千羽以上の鶴を折り続け、生きたいと願いながらも原爆病のため、12歳の若さで短い生涯を閉じた佐々木禎子さんの小学校時代の様子や、禎子さんの死を無駄にしないよう、同級生が一丸となって、募金活動を行い、原爆の子の像をつくったこと等を河野さんに変更し、美しい声で、優しく情感を込めて語ってくださいました。本当に胸を打つ、見事な素晴らしい語りで、子ども達もひきこまれていました。

ふるさと美祢で、命の尊さ、平和の大切さを伝えたいという西さんの熱い願いを、西さんの同級生である、美祢ロータリークラブの羽佐間会長さん(元副市長)の御尽力で実現した催しでしたが、この度の御縁をきっかけに、美祢市内の小学校6年生が、広島に修学旅行に行った際、西さんが、語り部を引き受けてくださることを承諾されたと聴き、大変嬉しく思いました。

来年度は、西さんの二つ目の母校、大嶺中学校の生徒に聞かせたいというのが、今の私の願いです。

小学校6年生での平和学習を、ぜひ、中学校でも引きつぎ、戦争が人間としての尊厳を踏みにじる、いかに残酷なものであるかを、実際に戦争を体験した人の言葉から実感して欲しいですし、亡くなった友だちのために、同級生が団結し、子ども達の力で、平和を願う象徴である原爆の子の像を建立したその素晴らしい事実も、日本中の子供たちに知って欲しいと思っています。

以上、簡単でございますが、行事関係を申しましたが何かご質問等がありましたらお願いできたらと思います。

よろしいでしょうか。

## 5 報告・議案

### 教育長 南 順子

それでは、次に進ませていただきます。

議案の審議に入ります。

議案第2号、学校教育法施行規則の一部改正について学校教育課、お願いいたします。

中島課長。

### 学校教育課長 中島 幹晃

議案の2ページ、資料も2ページになります。

学校教育法施行細則の一部改正についてでございます。

本件は就学事務に係るシステム変更に伴い、入学通知書の様式を国の標準化に沿ったものへ見直すために、学校教育法施行細則の一部を改正しようとするものでございます。

全国共通の標準様式に準じたものに変更されるということでございます。

以上です。

### 教育長 南 順子

では、議案第2号について質疑等があれば承りたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、特にないようですので、議案第2号の質疑は終了させていただきます。

お諮りします。

議案第2号、学校教育法施行細則の一部改正について、説明の通りご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は、挙手をお願いします。

## <全員挙手>

### 教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。  
全員賛成ということで承認されました。

## 6 協議報告等

### 教育長 南 順子

続きまして議案第3号、令和8年度美祢市立小中学校教職員人事異動についてですが、本議案は、本日の会議の次回定例会議の日程前まで終わった後にお諮りをいたします。

先に協議報告の方に移ります。  
初めに、各課からの報告をお願いいたします。  
教育総務課、田中課長お願いいたします。

### 教育総務課長 田中 美香

教育総務課からは、まず1点目、令和7年度の補正予算について御報告いたします。

3月3日に開会いたします令和8年第1回、3月の美祢市議会定例会におきまして提出する令和7年度の補正予算についてご説明をいたします。

資料は事前に送付いたしました横向きの令和7年度、教育費3月補正予算でございます。

この度の補正は、決算を見据えた減額の補正が主なものとなっております。

3月の年度末に向けて、執行額の精査を行った結果、執行残となるものを減額補正するものでございます。

資料は補正がある費目について抜粋をして掲載をしております、それぞれ右横に簡単な補正の理由を記載しております。

時間の都合もありますので、細かなところまで説明ができませんが、金額に多少の違いはありますけれども、委託料や工事請負費など、入札を伴うものは入札減やその他決算見込みにより経費の残額を減額補正することにより、教育費総額では、資料5ページになります。7,197万2,000円の減額となっております。

令和7年度3月補正の説明は以上です。

### 教育長 南 順子

ただいまの説明につきまして、何かご質問等がありましたらお願いいたします。

よろしゅうございますでしょうか。

## 教育長 南 順子

それでは、続きまして2番目の令和8年度予算について、千々松局長、お願いいたします。

## 事務局長 千々松 雅幸

それでは、令和8年度の教育委員会の主要事業についてご説明申し上げたいと思います。

資料が2種類あるのですけれども、A4の縦綴の部分と、A4のこの横の、こういうやつがあると思うのですけれども、こちらでちょっと説明をさせていただければと思います。

今日、配付させていただきました。

この作りは、第三次教育振興基本計画の基本目標であるとかそういった形で整理をさせていただいております。

主だったものや、令和8年度から少し変化があるようなものについて、ご説明を申し上げたいというふうに思います。

まず1、生きる力を高め将来を担う人づくりということで、学校教育人材の育成。

これ継続事業にはなりますけれども、mineto教育改革人材設置事業として、公設塾やラーニングスペースの運営スタッフ5名の、これは、人件費といいますか、委託費になります。

令和7年度は6名というふうな体制で考えておりましたけれども、うまくラーニングと公設塾の業務分担を整理することで、5名でまわしていきたいというふうに考えております。

それから、地域プロジェクトマネージャー設置事業ということで宇野教育創生監のポジションになるものです。

令和8年度も宇野教育創生監の3年の任期終わりますけれども、引き続き、このポジションで人を確保したいというふうに思っております。

それから、教育魅力化推進委員、現在の坂本さんや、中野さんのポジションになります。

これも引き続き確保したいというふうに思っております。

それから、右側の公設塾設置運営事業です。

中学生を対象にした探求塾ということでありますけれども、令和8年度からはですね、これまでは1ヶ所、旧消防署のところに集まって塾をやるということにしておりました。

その意図するところは、小規模校の中で子供たちが交わる機会をしっかりと作ろうという意図ではあったのですけれども、交通の便といいますか、なんか行きにくいというようなところの声がやっぱり、継続してありますので、週2回ず

つ秋芳や美東のまちづくりセンターでも開催したいというふうに思っております。

厚保中からの今入塾者っていないのですけれども、やっぱりここも入塾を進めなきゃいけないなっていうようなところで、ここはイベント的にもう週を決めてというのではなくってイベント的な感じで、そういったところでも中学校かつ公民館、とかいうようなところでも開催を考えていきたいというふうに思っております。

それから、ラーニングスペースについてです。

これは、高校生を対象にしておりますけれども、令和8年度は高校との連携を強化して、高校に出ていくアウトリーチを強化していきたいというふうに考えております。

それからmineto子供キャンプ事業ですけれども、これはこれまでは生涯学習スポーツ推進課の所管事業としてやっておりましたけれども、令和8年度からは今日、学校教育課所管事業として行っていきたいというふうに思っております。

ある程度業務委託でやっておりましたけれども、minetoのスタッフ等も参画しております、美祢にこのキャンプのノウハウの蓄積もされてきたのではないかなというようなことで、少しやり方、手法も変えるということで事業費の方も約300万程度これまでかかっておったのですけれども、180万に抑えて、また引き続きやっていきたいというふうに、自己決定、探求をテーマにやっていきたいというふうに思っております。

小学校施設整備事業につきましては、引き続き、特別教室の空調整備を行っていききたいというふうに思っております。

それから、中学校についても空調の整備、それから美東中学校の夜間照明、これのLED化を進めていききたいというふうに思っております。

また、中学校美東中学校施設一体型整備事業ということで、令和8年度、令和9年度にかけて、施設整備を行っていききたいというふうに思っております。

これ2カ年で4億ちょっとの規模の事業費になります。

令和10年度の供用開始した施設一体型には令和10年4月1日からの移行、移行といたしますか、開始を目指していきたいというふうに考えております。

それから、ことばの教室です。

ことばの教室は今美祢の分教室にありますけれども、やっぱり通いにくいとかいうようなこともありますので、令和8年の2学期から大嶺小学校の教室、少し余裕の教室も出て参りましたのでここに移設をしたいというふうに思っております。

それから、給食調理場の関係です。

大田の学校給食共同調理場と給食センターの運営を行う他、旧大嶺の学校給食共同調理場を解体したいというふうに思っております。

そのことによって、今、大嶺小学校の駐車場不足であるとか、ことばの教室を移すことによる利用者の利便性を高めて参りたいなというふうに思ってお

ります。

それから、小学校管理事業或いは中学校管理事業で、学校からの要望の強い電子黒板、或いは、教員の働き方改革っていうようなところで留守番電話機能を持った電話機を入れていきたいというふうに思っております。

それから、給食のところでは申しますと、国県の財政支援をいただきながら或いは、市の物価高騰の食材支援も含めて、小学校の給食費は4月から無償化をしていきたいというふうに考えております。

中学校の給食費については、引き続き、規則上は310円、中学校310円なのですけれど、実際380円がかかっているのですけれど、その物価高騰分については引き続き市の方で見たいというふうに考えております。

それから、少し飛ばしまして、生涯にわたり豊かな繋がりを育む地域づくりということで、生涯学習の推進でMineいきいき学び塾開催事業ということで、これは従来でいうと市民大学講座に代わるものです。

国の補助事業を活用させていただいて、文化人等招いた講演会を開催したいというふうに思っております。

少しジオパーク活動の普及や啓蒙に、そういったことに主眼を置きながら、そういったことをこの講演等を開催したいというふうに思っております。

それから、図書館管理運営事業ということで、新しい取り組みとして、図書館複合化施設が今、建て替えの建設を進めております。

そこには地域の文化人のギャラリーを設けるようにしておりまして、そこに久保修さんの作品等を提示させていただくというようなことで調整をさせていただいております。

そういった中で、久保先生からのご提案もありまして、そういった図書館建設等機運を高めるためにも社会人一般を対象にした切り絵教室を行う、行ってみたらどうかということがありますので、そういう経費をこの中にも盛り込んでおります。

それから、市民会館ですけれども、これ市民会館、結構雨漏りがひどいのですけれども、多目的ルームとか、屋上の防水工事をやる予定としております。

生涯スポーツの推進ということでは、引き続き地域スポーツクラブ活動、地域の学校部活動の地域展開といったものを進めて参りたいというふうに思っております。

それから、駅伝大会開催事業ということで、これは例年の駅伝大会に加えて、やっぱり参加者が減ってきておりますので、駅伝という枠にとらわれないように、ゲストランナーを招き、走り方教室とか、そういったことを開催したいというふうに思っております。

それから、武道館・弓道場・アーチェリー場管理運営事業ということで武道館になるのですけれども、武道館の空調整備をしたいというふうに思っております。

また、併せてLED化も図っていきたいというふうに思っております。

続きまして、4の自然文化の保護と活用についてです。

自然環境の保全と活用ということで、歴史民俗資料館の本館運営事業です。

大嶺炭田の歴史とか美祢層群の国際的価値をわかりやすく展示するとともに、蒸気機関車を移設しておりますので、それとの連携した周遊を促すような仕組みづくりや、オリジナルカンバッチづくりといったものを新しく行っていきたいというふうに考えております。

秋吉台科学博物館については、引き続きジオパーク拠点施設整備事業ということで、秋吉台の古生物を展示している部屋があるのですが、その改修を行っていきたいというふうに考えております。

それから、ジオパーク推進事業ということで、これこちらについては主にはMine秋吉台ジオパーク推進協議会の運営支援の負担金ということになっております。

あわせて、ビジビリティ可視化強化のための看板設置、或いは国際交流員の配置を行っていきたいというふうに思っております。

ビジビリティの強化ってということで門型看板が、市境に門型の看板があると思います。

このようこそMine秋吉台ジオパークですね。こういったものを、少しずつ年次計画的に今整備を進めているところです。

ジオパークセンター、カルスター改修事業ですが、物販エリアを改修広げるような改修を進めております。

物販の売り上げをふやすことによって、自主財源、ジオパーク推進協議会としての自主財源を、確保して持続可能な活動にしていきたいなというふうに考えております。

芸術文化の振興ということで、秋吉台国際芸術村の指定管理です。

都市公園秋吉台国際芸術村の指定管理です。

きらめき財団に、これは、これまで5年間でやっているのですが、この1年間は、ジオパークのユネスコ世界ジオパークの承認勧告の決定を受けて県としても、秋吉台国際芸術村のあり方を1年かけて考えようじゃないかということでとりあえず1年間の指定管理というふうになっております。

文化財の保護と活用といったところでは指定文化財保護管理事業として、万倉の大岩郷が結構、岩と岩の間に雑木が生えておりますので、昔のような岩がゴロゴロにしたような感じではないので、その伐採作業を進めるように、これも年次計画的にやっております。

そういったことが今後の事業ということになります。

私の方からの説明は以上になります。

## 教育長 南 順子

今、局長の方から令和8年度の教育委員会主要事業につきまして、詳しい的確な説明がございましたが、何かお聞きになられてご質問とかまたお気づきご意

見等がありましたら、この場で伺わせていただけたらというふうに思います。

ジオパーク活動の推進でジオパークのビジビリティの体制の強化のための看板設置っていうところで、今、ようこそ、交流拠点都市美祢の看板のところ、今、写真があるこういった、さっき局長が説明しましたこういう看板に置き換えるということで、ございます。

何かご質問等がございましたら、はい、どうぞ。

井上委員。

#### **委員 井上 敏雄**

今、ご説明いただいたA4横のやつは、主要事業ということで代表的なものを説明されたのでしょうか。

A4縦の予算の概要の方に、すべてが入っているのですよね。

だからさ、説明されてない内容とかがこっちにもありましたから、この中からピックアップしてこちらを説明されたと。

#### **事務局長 千々松 雅幸**

違います。必ずしもそうではないのです。

#### **委員 井上 敏雄**

そうなのですか。

いや、もちろん主要事業以外でも、こちらの縦書きの方見たらね、当然大事な、1ページ目だったら子供の発達のサポート事業とか入っていますから。

こちらが基本すべてで、こちらは特にピックアップしてご説明されたという認識でよろしいのですよね。

#### **事務局長 千々松 雅幸**

はい。

#### **委員 井上 敏雄**

それだけちょっと聞きたかった。

ありがとうございました。

#### **教育長 南 順子**

いや本当いずれもすべて大事なことでございますけども、今局長が申しましたのは本当に特に主要な事業というところで、説明をさせていただきました。

ですから、今井上委員からご指摘のありました「子供発達を支える」そういった事業もぜひ今年度も継続して、より子供たちのために頑張っていきたいということは、教育委員会の総意でございます。

他に何か。

この令和8年度の予算の概要と、そして今の主要事業等についての説明から、お聞きになりたいこと等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

一つちょっと確認したいことが生涯にわたる豊かな繋がりを育む地域づくりのところの生涯学習の推進でMineいきいき学び塾開催事業というのは、今までの市民大学講座としてやってたものが、今こういうふうに変えて、今局長が申しましたように文化人等を招いた講演会の開催ということで特にジオパーク活動の普及や啓発に主眼を置いたそういう講演会を開催するというので、そういうとらえ方で、だから市民大学講座っていう名前はなし事業ですね。

### **事務局長 千々松 雅幸**

市民大学講座が終わって新しい事業ということですか。

### **教育長 南 順子**

だからこれからは市民大学講座という名称がなくなったということで、ご理解いただけたらと思います。それがこれに変わったということで、よろしゅうございますでしょうか。

大変これは令和8年の重要な事案でございますが、時間等の関係等もございましてまたしっかり見ていただきまして、特にこの今局長が説明したのは当日配布ということでございまして、またご覧になられまして、3月のまた教育委員会でも、ご質問があったら承りたいというふうに思いますがよろしいでしょうか。

特に今これだけということがあればお聞き、承りたいと思います。

いいですか。

井上委員どうぞ。

### **委員 井上 敏雄**

結局のところ、令和7年度と令和8年度の事業費の総比較っていうのが、1ページ目の一番上に書いてあるこの合計ここがそうなのですかね。

てことは、令和8年度は今年度よりもかなり抑えた金額になっているっていうことですか。

単純に比較ってなっちゃうと比較マイナス8,000万ぐらい。

結局は、どこにあるのかをまず聞きたかったのだけど、この予算の概要として、このA4縦がありますよね。

ここにいっぱい書いてあるいろんな事業費や予算額を積み上げたのがどこにあるのかなと。

それが多分、1ページの一番上の1、2、3というところなのかなっていうのがまず一つ。

### **事務局長 千々松 雅幸**

教育費で合計が出ればいいのですが、教育費、今、お渡ししている中では教育費の計が出てないのです。

今1枚目の予算の教育委員会費の計とか、事務局費の計とか指導費の計は出ているのですが、全部を足し上げたら、教育委員会全体の予算になります。

### **委員 井上 敏雄**

概略でいいのですが要は積み上げた教育委員会に、かけていただける市のお金っていうのが、7年度よりも増えてる方向なのか減っている方向なのかをちょっと聞きたかったのですがね。

### **事務局長 千々松 雅幸**

当初予算編成については、市の一般財源ベースをマイナス10%で組みなさいっていう指示が出ているのです。

基本そういったところではできることとできないこともあるのですが、そこは意識しながら取り組んでおります。

ですけど、図書館の関係の図書館複合化施設の整備費が、かなり大きくなっておりますので、これは今年度、来年度と続いていくものです。

それと美東中学校の施設一体型に向けた工事費が、もうこれだけでも2億出ておりますので、令和7年度と比べると、増えているっていうふうな認識です。

もう圧倒的にハード事業がちょっと多いので、令和7年度予算と令和8年度予算を比較しますと、金額ベースで2億4,096万1,000円増加しております。

令和8年度が率で言うと11.8%の増ということになっております。

### **教育長 南 順子**

よろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございました。

他の委員さんから何かご質問がありましたら。

お願いしたいと思いますが。

よろしいですか。

ちょっと一旦、予算の方は、終わらせていただきまして次に3番目、3月26日開催の総合教育会議につきまして、田中課長お願いいたします。

### **教育総務課長 田中 美香**

総合教育会議につきましては本日、机上に資料を置いております。

会議の終了後に、資料を見ながら少し協議をさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上なのですが追加でちょっと1件、ご報告をしたいことがありますので、よ

ろしければちょっと発言をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

先ほど教育長のお話にもありましたけれども、第三次の美祢市立小・中学校適正規模・適正配置の基本方針につきまして、昨年3月に策定しました方針を、10月から学校運営協議会と保護者に向けて説明をして参りました。

2月19日の豊田前小学校の保護者への説明会を最後に、今年度は一通り終わることができましたのでご報告をいたします。

先ほどの教育長のお話にもありましたが、2次方針からの対象校である麦川小学校の保護者におかれては、先日市長と教育長に宛てて、令和9年度からの統合に係る要望書を提出されました。

その要望を受けまして、来月3月24日に、麦川小学校校区の方を対象に地域の説明会を開催するご案内をしたところでございます。

また、厚保中学校については、保護者アンケートにおいて、統合に向けては、賛成の同意がされませんでしたので、また来年度、早めにお伺いしてご説明をしたいと考えております。

今回、それぞれの学校につきましては、保護者説明会が終了した後、保護者の皆さんの意見を集約して、賛成、反対の意思表示をいただくようお願いをしております。

保護者アンケートをされているところが多いように思いますけれども、まだ結果が届いておりませんので、3月の教育委員会会議で出揃えば、その回答を教育委員会会議でご報告をしたいと考えております。

また、個々の説明会の報告書もご覧いただいていたと思うのですが、まだ決裁中のものがありますので、決裁が終了いたしましたら3月の会議であわせてご報告をさせていただきます。

最後になりましたが、今回の説明会では、教育委員の皆様には配布済みの方針を抜粋して資料として使用をいたしました。

また、本日机上に配布しております児童及び生徒数推移表も使用いたしましたので、参考までにお配りをいたしました。

こちらの見方につきましては、表の真ん中あたりの薄いグレーのところは、今年度の児童生徒数でございます。

左側の濃いグレーのところは、この例えば令和13年入学って書いてあるところは、この年に入学する子たちの数を推定で書いております。

右側の方は、出席数をベースにした今後の全校制度の見込みの数となっております。

途中の間には、伊佐小は令和11年度から複式学級の可能性がある。

下の方の中学校においては、厚保中学校が令和10年度から複式の可能性があるというふうに、書いたものを保護者の方にお配りをしてご説明をしております。

以上です。

**教育長 南 順子**

今、教育総務課の方から、適正規模・適正配置に関する報告等がございましたが、何かご質問とか、またご意見等があれば伺いたいと思います。

はい、よろしく願いいたします。

**委員 井上 敏雄**

先ほどの報告で、厚保中の方からは同意が得られなかったという話があったと思うのですが、そういった場合には今後得られないという結論で別の方向性を、方針を作っていくのか、それとも何とか納得していただけるように、そちらの方向でいくおつもりなのでしょうかね。

**教育長 南 順子**

お願いいたします。

**教育総務課長 田中 美香**

この方針はそのまま生きておりますので、来年度についても、令和10年度からは中学校で複式の可能性があるということをご説明していきたいと思えます。

新しい保護者の方もおられますでしょうし、今回、厚保中についてはですね、賛成、反対のアンケートのハードルを、賛成が7割以上でないと統合しないというような結論を先に出されていまして、かなりご自分たちでハードルをちょっと最初から上げておられたからですね。

なかなか統合っていうのは難しいだろうなと思っておりましたけれども、そのとおりちょっと難しかったので、また来年度、誠心誠意ご説明をして参りたいと思っております。

**教育長 南 順子**

他の委員さんからも何かお気づきとかご意見がありましたら、よろしいでしょうか。

**教育長 南 順子**

今、児童及び生徒数推移表というのが、お手元にあると思えますけれども、小学校のところの計の令和13年度入学っていうのが55人になっておりますがこれは令和6年度に美祢市全体で生まれた子供の数です。

だから、転出入がなくて、ずっとこのまま美祢市にいれば、令和13年度に入学する子供が美祢市全体で55人ですから、令和12年っていうのが、実は令和5年度に生まれた子供たちで、11年がその前の年令和4年となります。

今、2年生が100人となっておりますけれども、10年経たないうちにもう約半

減です。

美祢市全体で生まれた子供の数がという現実があるということで、保護者説明会でもそのあたりの方も、説明をさせていただいております。

この件につきましては、よろしゅうございますでしょうか。

それでは、総合教育会議につきましては今、課長のほうから話がありましたけれども、教育委員会会議が終わってからにさせていただけたらと思います。

続きまして、学校教育課お願いいたします。

中島課長。

## 学校教育課長 中島 幹晃

(1) 学校の様子についてということで、事前にお配りしたスライドを綴じた資料、子どもが地域の先生プロジェクトと大きく書いてある資料があるかと思しますので、ご覧ください。

これは、去る1月24日、県のセミナーパークにおいて、美東中学校の子供たちが、美東未来学の挑戦、私たちのふるさとを世界へと題しまして、美東小中学校で進めている学校の魅力化の大きな柱である美東未来学について、発表した様子をご紹介しているものでございます。

スライドの下、子どもが地域の先生というのが少し聞き慣れない言葉なのですが、どういうことかと申しますと、地域の価値を再発見、再編集し、子どもが発信する取り組みということで発表をいたしました。

中をめぐっていただきますと、当日インフルエンザで急遽代役の子供たちもいたのですが、誰が代役できたのかわからないぐらい、とてもいい発表をいたしました。

下に書いてございます。

課題認識出発点っていうところで、今までも長登銅山の銅山祭り等に参加はしていたのですが、一番下に書いてございます、体験型学習の域でございましたが、これを探求型学習へ転換していこうということで、しかも右側にございます3年間系統的にやっていこうということで、1年生はポスターづくりを自分たちでする、2年生は銅山祭りの価値を設計していく、自分たちが参画する、3年生がそれを世界に発信するというふうに系統的な計画で美東未来学が進みました。

1枚めぐっていただきますと、この子は中学1年生のなんですが、自分が作ったポスターを見せているところでございます。

100人を超える参加者が立ち見も出るぐらいこの発表を見ていただいて非常に、他の山口県内ですね、7地域の代表の学校が参加していたのですけれども、鼻真目じゃなくても一番よかったというふうに、いろんな方から声をいただきました。

特に、右側にALTのマックが写真に写っていると思いますが、マックも参加してくれて、美祢の子供たちの課題である表現力、プレゼンテーション能力、英

話による実践的コミュニケーション能力、こういったあたりがとてもよく表現できていたと、最後のページに集合写真のようなのがございますが、上にみんなのために、未来の美東のためにといううっすらと映っておりますが、下の写真の一番左側におられる帽子をかぶっておられるのは松岡さん。

PTAの学校運営協議会の方も子供たちと一緒に参加して、子供たちの間に奥に顔ちょっとのぞかせているのが教育魅力化推進員、大学生の中野真緒さん。

こうやってみんなです、発表をいたしましたのでご報告いたします。

以上です。

### **教育長 南 順子**

ただいまの中島課長からの本当に臨感がこう伝わってくるような報告でございましたが、何かこの件につきまして、ご意見、またお気づき等がありましたらお願いいたします。

感想等でも結構でございます。

金子委員お願いいたします。

### **教育長職務代理者 金子 明美**

発表を終えて、一番最後のページの子供たちの表情がとっても充実感が溢れているなというふうなことを思いました。

実際にやってみて、そして、いろんなことを感じ、子供たちにとっては素晴らしい体験だったのじゃないかな。

さらに、地域の人たちも一緒になってというところでも、とても意義のある発表だったのだなあというふうに思いました。

ありがとうございました。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

はい。

松本委員お願いいたします。

### **委員 松本 孝志**

学校訪問で美東中学校に行かせてもらって、子供たちの本当に積極的に活発な雰囲気を感じられていたので、そういうものをこういう場でも出されたのかなあと思って大変感心いたしました。

昔、総合的な学習とか総合的な学習の時間がスタートしたときに、私も美東中にいて、始めたのですが、なかなかそれが形にならないというか、試行錯誤のままで、上手いいかない状態が続いたのですが、近頃こういう形で昔のいわゆる目指していた総合的な学習の時間が身になってきているというのを凄く実感をしていて、とてもいい取り組みをされているなというふうに、感じまし

た。

**教育長 南 順子**

ありがとうございました。  
何か課長さん、いいですか。  
谷岡委員、お願いいたします。

**委員 谷岡 奈美子**

課題認識とかも自分たちでして、生徒さん自身はその体験型から探求型へと  
いうところが本当に素晴らしいなと思いました。  
これからますますパワーアップされることを、期待しております。

**教育長 南 順子**

ありがとうございました。

**委員 井上 敏雄**

事前に松岡さんの方からこういうのがあるのだっていうのはちょっと聞いて  
いたのですけれども、セミナーパークであるこういう県内の発表っていうの  
は、毎年やっているのですか。  
今回は初めての参加なのですかね。

**学校教育課長 中島 幹晃**

子供が地域の先生プロジェクトというのが3年目になります。  
来年度からはですね、子供が地域の創り手プロジェクトというふうに、名称  
を変えて、また3年間行われる予定になっております。  
以上です。

**教育長 南 順子**

ありがとうございました。  
それぞれの委員の皆様方から本当貴重なご感想等いただきましてありが  
うございました。  
ぜひ、今、美東中学校は施設一体型の新たな美東未来学を目指しております  
ので、委員の皆さん方のご感想っていうのは大きな励みになると思います。  
また、さらに1歩を目指して頑張っていけたらと思います。  
それでは次のほうに移らせていただきます。  
2番の方、中島課長お願いいたします。

**学校教育課長 中島 幹晃**

2番の方も発表の報告をもって、minetoと教育改革プロジェクトの進捗状況

の報告にかえさせていただきます。

これもセミナーパークで2月14日に、こちらは宇野教育創生監と正木minetoのスタッフが約45分間発表いたしました。これも大変な観客に見ていただきまして、これは全国、北海道から沖縄までからの参加者、人づくり地域づくりフォーラムin山口という中で、ぜひminetoの発表して欲しいという県からのオーダーがあって発表したものでございます。

中をめくっていただきますと、右側の下に好奇心を引き出し挑戦する力を育むというminetoのコンセプトがございまして、まためくっていただきますと、下、黒いスライドがあります。

minetoにはたくさんの先生がいますよということで、minetoにはですね、右側の上に今5名のスタッフの写真があるかと思えます。このスタッフは直接のスタッフなのですが、地域の大人も先生として入ってくださっている。それから、3つ目の関係人口これがminetoの特色でございまして、先ほどの教育魅力化推進もmineto先生になってもらう。

それから、大学生とか、全国からオンラインで、メンター制度ということで、中学生とかラーニングスペースの高校生の探究活動を定期的にアドバイスしてくれる、そういう関係人口も今、着実に増えているところでございます。

それから、子供の探究活動を二つほど、このスタッフの下に書いてあるのは、農家さんがおしゃれをしてもらいたいという服作りを、一から地域の方に習ったという中学生の報告をいたしました。

めくっていただきますと、

子供が大人を変えたとありますが、これは、その関わった農家さんがminetoの中学生と関わることでオンライン販売に挑戦したということで、販売するとすぐに注文が入るようになって、minetoと関わらなければSNSなんて絶対やってないというところなのですが。

この農家さんの生活の質をminetoが間接的に、minetoの中学生が変えたという例もございました。

また、右側はペットボトルキャップ野球を探究している中で、大学生がこんなにも美祢に集まってくれたという例も紹介しました。

また、めくっていただきまして、左側が、教育魅力化推進員の今までの3名の写真でございます。

この発表を右側上minetoサミットというので、この3月に発表がありますので、もし時間が許せば、見に来ていただけたらと思います。

minetoサミットの下に2年連続全国ファイナリストと書いてあるのですが、3つコンテストがありまして、真ん中のマイプロジェクトアワード2026というのがあるのですが、これが全国規模の探求の日本最大級の探求アワードがあるのですが、今、minetoを卒業してラーニングスペースで学んでいる高校生が全国大会、東京に行き発表するというので今年度も選ばれております。

めくっていただきまして、保護者の写真の下に今後の課題が書いてございま

す。

すし、このminetoの仕組み、いいものなのですが、この仕組みとして残すために成果が見えるようにすること。

それから、2番目、1人でも多くの子供たちに届ける、先ほど局長から説明がありました美東秋芳にも出ていくというようなことから、結果、3番教育で選ばれるまちになるように魅力化を図っていくというようなことを発表しました。

一番最後のページに、先ほど申し上げたようなminetoサミットの今年度3月8日、日曜日の13時から行いますので、もし時間を許せば来ていただけたらと思います。

以上です。

### **教育長 南 順子**

今、報告がございましたけれども、何か教育委員の皆様方から、ぜひここはちょっと尋ねてみたいとか、そういったことがございましたら、またご感想でもありましたらお願いできたらと思います。

松本委員お願いいたします。

### **委員 松本 孝志**

とてもいい発表だなというのを、資料見るだけで感じます。

以前、教育会でも宇野教育創生監が発表された時の感想がとても良くて、とても注目された発表だったのですよね。

この今の資料の中に、教育で選ばれる街にということがありますけど、こういう取り組みって、今後、その教育会の会に参加された方もすごく興味を持たれて、おそらく保護者の中でもこんな取り組みをしているのだっていうことが、伝える機会が多ければ、ひょっとしたらこういうことを、こういうところで学ばせたいと思われるような保護者もおられるのではないかなというふうに感じました。

是非、こういう人づくりフォーラムとかですね、そういう形でいろんなところで発表していただいて、取り組みを伝えていただくと少しずつ美祢市の活性化にも繋がっていくのかなというふうに思います。

また、よろしく申し上げます。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

本当にありがとうございます。こういうふうな発表の機会をまず与えていただけていること本当にありがたく思いますし、今おっしゃいましたように、しっかりと情報発信を工夫して本当に良い形で、成果等を発表できたらというふうに思います。

また、令和8年度も、今度は教育フォーラムでしたかね。11月ぐらいにこの発

表の機会がありますので、そこでも少しちょっとバージョンアップして頑張っ  
て、しっかり発表させていただけたらと思います。

他に何かお気づきでもございましたらお願いできたらと思います。

よろしいでしょうか。

いろいろありがとうございます。

はい。それでは続きまして、次の市内の小中学校卒業式については、渡壁主  
幹お願いいたします。

### **学校教育課 主幹 渡壁 誠**

はい。前回、時間が入っていないものをお配りしたものの、全てが入った令和  
7年度市内小中学校卒業証書授与式についてというプリントを事前にお配りし  
ております。

各場所については、集合時刻、開始時刻、それからスリッパ、壇の上でどう  
するかというところを書いてありますので、ご確認をお願いします。

MYTの取材なのですけれども、今年度は秋芳地域の秋芳桂花小学校と秋芳中  
学校に行かれると聞いております。

どちらも教育委員会の方のものが行くところでございます。

あと、告辞についてもあわせて先ほどお配りさせていただきました。

事前に読んでいただいでですね、読みにくい箇所等ありましたら、またご連  
絡いただければと思います。

よろしくお願いいたします。

以上です。

### **教育長 南 順子**

大変お忙しい時期でございますが、教育委員の皆様方、卒業式での告辞等ど  
うぞよろしくお願いいたします。

ご意見とかお気づき大丈夫でございますでしょうか。

それぞれ今ご確認していただいていると思いますけれども、ぜひ変更して欲  
しいとかそういうことがございましたら、今この場で承りたいと思いますが、  
よろしゅうございますでしょうか。

じゃあ、すみませんが開始時刻等それぞれちょっと学校によって違うと思  
いますので、その時間内にぜひよろしくお願いできたらと思います。

それでは、続きまして今度は生涯学習スポーツ推進課に移りたいと思います。  
美祢地域クラブ活動に関する推進指針の改定について。

千々松課長お願いいたします。

### **生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

それでは、美祢市地域クラブ活動に関する推進指針について、ご説明を申し  
上げたいというふうに思います。

こちらの推進指針につきましては、昨年の12月の暮れに国の指針ガイドラインが示されて、それを受けて美祢市バージョンの見直しをかけたというところでもあります。

これについては、2月の16日に開催した美祢市地域スポーツ文化クラブ活動体制整備推進協議会において、この案をお示しし、ご意見等もちょうだいしたところでもあります。

主なところについて、ご説明を申し上げたいというふうに思います。

3ページを開いていただければと思います。

本当にピックアップして、3ページですね。

改革期間及び取り組み方針という部分です。

令和8年度末をもって学校部活動を終了させ、令和9年度から平日を含むすべての活動を地域クラブ活動とすることを、目指したいというふうに考えております。

競技種目によっては、中体連登録ができないような競技種目もあるかもしれないのですが、もう、例えば中体連で登録ができなくても、地域クラブ活動として行うようにしたい。

学校部活動は、もう令和8年度末をもって終わりにしたいというふうに考えて、その方向で進めたいというふうに考えております。

活動時間です。

4ページ見ていただければと思います。活動時間、1週間当たりの活動時間は平日2時間程度を2日、休日は3時間程度を1日とした合計7時間を基本とし、可能な限り短時間に合理的かつ効率的効果的な活動とすること。

ただし大会とか、練習試合等に参加する場合等、これによりがたいときには、国のガイドライン自体は活動時間が11時間になっておりますので、この範囲内であればよろしいですよというようなことにしております。

休養日等の設定です。5ページになります。

1週間当たりの活動時間が、11時間の範囲内に収まり、かつ1週間当たり2日以上以上の休養日が設定できれば、土曜日日曜日を連続して活動することができるというふうにしております。

これは、土日の練習が、野球の関係でなかなか指導者の関係で土日連続してないとなかなか難しいということもありましたので、その辺にも配慮したガイドラインとしております。

それから、今度は新しく国のガイドラインにおいても、適切な会費の設定をするようにということが謳われておりますので、可能な限り低廉な会費を設定するようにお願いをしているところです。

それから、新たにこの地域クラブに関する認定制度というものになっていきます。

自治体が認定した地域クラブについて、公的な支援が受けられるようになっております。

ですので、市が認定しない地域クラブには、国の補助金であるとか市の補助金であるとか、スクールバス移動の支援とかいうのはできないようになっております。

より具体のこの認定にあたっての細かい取り決めっていうのは、また改めて、この教育委員会会議の中でお示しをご提案申し上げたいというふうに思っております。

ただこの認定もあくまでも勝利至上主義ではなくって、書いてありますけども競技力向上を目的としたチームスクール等との区別や質の担保等の観点からというふうにありますように、その勝利至上主義に至らないような形の地域クラブ、あそこを認定していくような形になろうかと思えます。

それからですね、この8ページを見ていただければと思いますけれども、地域クラブ活動の管理責任といったところで、活動の中で起きた事故とか、というような時は、誰が責任を持つかというようなところを、国のガイドライン等に基づきましてお示しをしているところです。

それから、9ページになりますけれども、地域展開しても、しっかりと学校との連携を図っていきましょう。

活動場所の確保、或いは備品の等についても、極力地域クラブに配慮するようというふうにしております。

あとは移動手段については、これまでどおりのことを記載しております。

あと新しくですね、前回のガイドラインっていうか美祢市の指針にはないところで11ページになります。障害のある生徒の活動機会の確保ということで、ユニバーサルな感じで、障害のある子供も地域クラブ活動に参加ができるようなことを、行政機関が横連携を図りながら取り組んでいきたいと思いますというふうなことも謳っております。

それから、12ページです。

兼職兼業ということで、多様な地域の方という中に学校の教員も含まれるというそういった中で学校の教員も、地域クラブの指導等に関われるように、兼職兼業に向けた制度、制度を明確にしていこうというふうに考えております。

これにつきましては、また後日、教育委員会会議でも細かいルールについてお示ししたいというふうに思っております。

それから、今後のスケジュールについてです。

もうかなりこう地域クラブへの展開っていうのが進んでおりますけれども、令和8年度中はまだ、バレーボールと卓球は学校部活動として、中体連登録し、中体連の試合に参加するようになっています。

ですので、バレーと卓球はまだ部活としての活動が残るというような状況です。

令和9年度からは卓球もバレーボールも、地域クラブ活動へ移行、展開をさせていきたいというふうに思っております。

それから、相談体制等については、これは指導者による様々なハ

ラスメントに対する相談窓口は生涯学習スポーツ推進課が、一義的に受けますと、ですけど、あわせて日本スポーツ協会が持っている相談窓口等についても、或いは競技団体が持っている相談窓口等についても、そういった情報提供を行っていききたいというふうに考えております。

推進指針についての説明は、以上となります。

#### **教育長 南 順子**

今課長の方から説明がございましたが、何かご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

金子委員どうぞ。

#### **教育長職務代理者 金子 明美**

指針が国の流れによって、少し変わってきたということでご説明があったかと思うのですが、この指針について、やはり保護者や学校の職員もしっかりやっぱり周知していくことがとても大切かと思えます。

その周知をしっかりしていただきたいなということが一点と、それから、特に気になりましたのが、8ページの平日の活動の見守りという項目があるのですが、平日に学校単位で子供だけが練習するっていう時に、地域の方や保護者等が見守りをするっていうふうなことが書いてあるのですが、先日ちょっとある学校で子供たちがやっておりましたので、ちょっと心配だなぁというふうな場面がありましたもので、それも含めてですね、全体の周知をお願いします。

#### **生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

ご意見ありがとうございます。

学校等に対しては、校長会等の中でもしっかりと説明をして参りたいというふうに思います。

保護者についても、何か機会を見つけて周知をしていききたいなというふうにも思います。

それから、平日の見守りなのですが、これがなかなかこう見守りに活動していただける人の確保っていうのが、平日のこの3時半とかからの時間ですので、なかなかこうお勤めのある方は難しいのですけれども、引き続き粘り強く公民館の情報のネットワークを活用しながら、学校運営協議会や地域協育ネットでの呼びかけ等も引き続き行っていかなければいけないなというふうに思っております。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

他にご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

松本委員お願いします。

### **委員 松本 孝志**

意見じゃないのですが、教えて欲しいのが、例えば活動時間っていうのが、平日は2時間程度で2日と、休日は3時間程度。

7時間と、例えばそういう地域スポーツをやろうとしている元々あるようなクラブ、とかで毎日やっているようなところってありますよね。

それは、この時間を超えて活動しているようなところというのはないのでしょよね。

そういうところってどうなるのかなと思って、地域クラブとしては認定してないことになるのかなあとか。

思ったのですがそういうことはないのでしょうかね。

ちょっとその辺がどうなのかなと思ひまして。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

課長、お願いします。

### **生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

地域のいわゆるクラブチームってありますよね。

もう何かこう、割と勝つことを目的にしたような、あれはもう、今ここで言う地域クラブ活動ではないので。

そこにはちょっとこう7時間ルールを適用してねとかいうのは全くないのですけども、基本この7時間、或いは11時間の範囲に収まらなければ地域クラブ活動としてはもう認めないですよっていうような、スタンスです。

もう任意で活動されている、私達が認定している地域クラブ活動外でやられているところにも、ちょっと感知ができないのかなというふうに思っています。以上です。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

他に何かご質問やご意見ありましたら、お願いいたします。

井上委員。

### **委員 井上 敏雄**

地域クラブ以降については、美東地区がモデルケースとして早くから取り組んでいたのですが、その当時からネックになっていたのが7ページ目にある指導者の確保育成と、もう一つは9ページ目の移動手段的確保、この大きく二つがずーっと懸念材料としてあって、今後、新たに地域クラブに入ろうとする子供たち及びその保護者にとっても、この2点が完全にクリアになってな

いとちょっと不安かなという感じはあります。

指針を読んでも何となく指導者の確保に努めると書いてありますけども、各競技、うまくいってればいいのですけども、何かちょっと曖昧な書き方じゃないですけど、もやっとしている書き方なので、ちょっと不安ですよ。

あとは移動手段、当初は保護者が責任持ってということでしたけれども、見ていたらいろいろ手だてが増えているので、もうちょっとこの2点については書き足した方がいいのかなという気はちょっと見ながら思ったのですが、いかがでしょう。

## 教育長 南 順子

千々松課長、お願いいたします。

## 生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

ご意見ありがとうございます。地域クラブ、学校部活動の地域展開を進める上においては、やっぱり指導者の確保っていうのがもう最大の課題であるというふうに思っております。

これを必ずこうこうこうやったら確保ができるっていうのがなかなかこう、ないのですね。

子供の数も減ってきていけば、地域の方の方も減ってきているわけで、両方ともに人材難といいますかね、人がいないなっていうのが実感としてあるわけです。

そういった中で、なかなかこう、書ききれないなっていうところが正直なところですよ。ですけど、粘り強く探しておりますけども、卓球なんかでもですね、個別なつてを使いながらも、今指導者資格の取得に3名取り組み始めていただいていたりとかですね。

着実に進んでいるのかなというふうな思いではあります。

もうむしろ平日活動の見守りをしていただけるような方、ここを今後ちょっと重点的にやっていかないと、令和9年度以降、平日の活動が厳しくなるなというふうなところではあります。

すみません。はっきりしなくて。それから、移動の確保といったところで、あくまでもたてつけが土曜日の休日の練習って言ったところについては、通常学校までスクールバスが出ているようなお子さんについては、学校までの登下校便を出しますし、合同練習するようなところまで、スクールバスも出すようにしておりますので、土曜日については基本的には送迎ができていますのかなというふうに思っております。

平日の活動について、いろいろお声もお聞きするのですけれども、平日の活動時間というのがなかなかこう2時間ですし、冬季においてはもうほぼほぼ活動時間が十分とれないというようなこともありますので、日没が早く、移動つ

て考えるとなかなか難しいので、平日については基本、各学校での練習を集合して1ヶ所に集合して練習するのは難しいので、各学校での練習でお願いをしているというようなところですよ。

それから、日曜日も出してよというようなお話もあるのですが、一方でスクールバスの運転をしていただけるような事業者さん、事業者さんの運転手不足であるとか、運転手の方の何か労働時間の規制というのもありまして、なかなかこううまく対応も現実的にできないというようなところでもあります。

以上になります。

## 教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

他に何かご質問、ご意見がありましたらと思いますが、よろしいでしょうか。

この推進指針は、令和8年度から、8年度からですね。

先ほどお話ありましたように、ただし本当市教委が示す認定要件とかですね兼職兼業の件につきましては、また3月のこの会議でまた教育委員の皆様方のいろいろお知恵をお借りしたいと思っておりますので、それを経て、この指針が、先ほどありましたように、ぜひほぼ学校関係者や保護者にもしっかりと周知するように努めていけたらというふうに思っております。

それでは、この地域クラブ活動に関する推進指針については終わらせていただいてよろしゅうございますでしょうか。

はい、それでは文化財保護課、お願いいたします。

神田課長。

## 文化財保護課長 神田 高宏

文化財保護課からは、2件ほどご報告させていただきます。

まず一つ目が、長登銅山文化交流館企画展の開催についてでございます。

配布しておりますこちらのチラシをご覧くださいと思います。

今年度は「火の文化-人と火のかかわりを探る-」と題しまして、3月20日から4月7日までの期間で開催いたします。

火は人間が生活する上では切っても切れないもので、数十万年前から使い始めたと言われております。

人類は火と出会い火を使うことによって進化し、豊かな生活を送るようになりました。

長登銅山跡においても、暗い坑道での明かりとして、銅鉱石を溶かす際の熱源として利用してきたことが発掘調査等によって明らかになっております。

本企画展では、主に日本人の火の関わり、信仰などを紹介する予定としております。

また、3月22日には「火が織りなす精神文化」と題した講演会を開催いたします。

講師は長登銅山文化交流館の椿館長となっております。

ぜひ、お越しいただけたらと思います。

はい、続きまして、(2)の山口大学秋吉台アカデミックセンター活動報告会の開催についてでございます。

本日お配りさせていただきましたチラシをご覧くださいいただけます。

3月28日の土曜日に、秋吉台科学博物館において開催いたします。

今年度の活動報告は、「ユニバーサルデザインと観光マップの作成」や、「秋吉台及び秋芳洞周辺の微生物群調査」など7件の報告となります。

アカデミックセンター研究活動支援で採択された研究は、美祢市の課題解決に繋がる研究を優先的に採択しております。

今回研究の一つに、「秋吉台・秋芳洞におけるトレッキング踏破時の生理的負担及び心理的影響」という研究があるのですが、この研究は今後の秋吉台・秋芳洞でのヘルスツーリズム、私たちの健康によい影響を与えるツーリズムの進展にも、繋がるのではないかと考えております。

その他にも興味深い研究発表がございますので、ぜひお越しいただけたらと思います。

文化財保護課からは以上です。

## **教育長 南 順子**

今2点について報告、照会等がございましたけれども、委員の皆様方から何かご質問等がありましたらお願いいたします。

今のアカデミックセンターの活動報告会を3月28日に行う件でございますけれども、今、本当に美祢市の課題解決ということで、いろいろ研究発表、またその成果の発表がございますけれども、最後の美祢市と連携した学習支援PBL連動型の教員養成モデルの構築っていうのもこれも非常に新たな、今山大との連携でございます。

よかったら、ぜひお聞きになっていただけるとありがたいなと思っております。

それでは、次に世界ジオパーク推進課、お願いいたします。

神田課長。

## **世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

世界ジオパーク推進課からは、2件ご報告させていただきます。

まず一つ目ですが、チラシを配布しております。

こちらのチラシをご覧くださいいただけます。

3月7日、秋吉台の自然に親しむ会と、美祢市観光協会の主催で秋吉台上の遊歩道の補修作業を行います。

作業は、芝の剥がれた遊歩道に在来の芝を細い竹の杭で固定し貼っていきます。

毎年秋吉台で開催していますトレイルランニングの大会の参加費には、環境保全のための費用が含まれておりまして、この遊歩道補修作業のために使用されております。

また、ジオパーク推進協議会からは、カルスターでのグッズ売り上げの一部をこの保全活動に寄付しております。

今回、参加を募集したところ、関係者や一般の方、ジオガイドを含め100名以上の応募がありました。

秋吉台を持続的に活用していくためには、とても良い取り組みでありますので、今後も協力していきたいと考えております。

続きまして(2)ベトナムイベントの開催についてでございます。

こちらもちラシをご覧くださいと思います。

Mine秋吉台ジオパークは、同じカルスト地形のジオパークであります、ベトナムのドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークと連携協定を締結しております。

また、ジオパーク推進課では、ベトナム人の国際交流員を雇用しておりますことから、ベトナムに関するイベントを行っております。

3月15日、日曜日に美東地域まちづくりセンターで開催する予定としております。

このイベントは、市内で働くベトナム人技能実習生の方と一緒に、ベトナムで広く親しまれておりますフォーを調理します。

使用する麺は、インスタントのものを使用いたしますが、ベトナムの方と一緒にひと手間をかけることにより、本場の味を再現いたします。

またペアリングとして、ベトナム産のコーヒーとチョコレートも楽しめます。

美祢市においても、多くの外国人の方が居住し、働かれており、今後、益々増加していくものと考えられます。

今後もこのようなイベントを通して、海外の方との交流、世界の多様性を知る機会を提供していきたいと考えております。

世界ジオパーク推進課からは以上です。

## 教育長 南 順子

2点、ジオパーク推進課の方から報告、ご紹介がございましたけれども、何かご質問等がありましたら承りたいと思います。

よろしいでしょうか。

大変お忙しい、3月7日は中学校の確か卒業式で、ご参加は難しいと思いますが、ベトナムの味覚体験等もしご都合がつけば、ぜひまた参加をしていただけるとありがたいなと思います。

## 教育長 南 順子

## 7 教育委員からの提案及び意見

教育委員の皆様方からの提案及び意見を承りたいと思います。

委員の皆様方から何かご意見や提案等がございましたらよろしくお願いたします。

**教育長 南 順子**

よろしいでしょうか。

## 8 議案

**教育長 南 順子**

それでは議案第3号、令和8年度美祢市立小中学校教職員人事異動についての議案の審議といたします。

最初に申し上げましたように、人事案件でありますことから、秘密会議とさせていただきます。

お諮りいたします。

議案第3号の議事につきまして、秘密会議とすることに、ご異議はありませんでしょうか。

同意されます方は挙手をお願いいたします。

### <全員挙手>

はい、ありがとうございます。

挙手全員により同意いただきました。

それでは、議案第3号は秘密会議とさせていただきます。

これからは秘密会議となります。

### 【秘密会議】

**教育長 南 順子**

ここで秘密会議を閉じたいと思います。

お諮りします。

ここで秘密会議を閉じたいと思いますが、同意されます方は挙手をお願いいたします。

### <全員挙手>

ありがとうございました。

挙手全員により同意いただきました。

それでは、ここで秘密会議を閉じます。

議案をお諮りいたします。

議案第3号、令和8年度美祢市立小中学校教職員人事異動について、説明の通りご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は、挙手をお願いいたします。

### <全員挙手>

ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

それでは大変くどくて申しわけございませんが、最初に申しあげましたように、本日の会議についての守秘義務の徹底と文書の回収にご協力をお願いいたします。

それでは、一応事務局の方にお返しをしたいと思います。

## 9 次回の教育委員会会議の開催予定

### 事務局長 千々松 雅幸

それでは、3月の定例の教育委員会会議についてです。

3月26日木曜日13時30分から、ここ301会議室で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

### <全員了承>

### 事務局長 千々松 雅幸

ありがとうございます。

以後の予定については記載のとおりです。

## 閉会

### 事務局長 千々松 雅幸

それでは以上をもちまして2月の教育委員会会議を終わりたいと思います。

大変お疲れでございました。

ありがとうございました。

(午後3時30分終了)

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成